



みたか環境ひろば

令和6年10月号 vol.89

みんな読んでね!



問：このマーク、なんででしょう?

デコって何語?



ちょうちょ?



めがね?



ころがけのこと?

エコなのかな?

みなさんは、このマーク、ご存じでしょうか?

「デコ活」とは、環境省が推進する『脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動』の愛称です。と言っても、少し字が多くて難しいですね。下に「デコ活」の説明と具体的な活動についてお伝えします。ぜひ読んでいただき、ご自身が無理なくできる「デコ活」にチャレンジしてみてください。そして、まわりの人に「ねえ、『デコ活』って知ってる?」って、たくさん広めてくださいね♪

答：デコ活

という名前は、二酸化炭素 (CO₂) を減らす「脱炭素 (Decarbonization)」と、環境によい「エコ (Eco)」を含む「デコ」と、活動や生活を意味する「活」を組み合わせた言葉です。

環境省は、デコ活を通じて国民や消費者の、よりよい暮らしや働き方を実現し、CO₂削減につなげることを目指しています。

ロゴマークは、一人ひとりの日常の取組が大きなうねりになる「バタフライエフェクト」をイメージし蝶のデザインを採用しています。

バタフライエフェクト

小さな出来事が大きな影響を及ぼし、予想もしていなかったような結果につながることを意味します。日本のことわざでは「風が吹けば桶屋が儲かる (一見関係ないようなことが意外なところに影響する)」と類似していますね。

■ 例えばこんな活動です

 省エネ家電 しかも! 年2.8万円 ↓	 クールビズ ウォームビズ しかも! 年4千円 ↓	 テレワーク しかも! 年6.1万円 ↓	 太陽光発電 しかも! 年5.3万円 ↓	 地産地消・食べきり しかも! 年9千円 ↓
-------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

もっと詳しく知りたくなったら環境省デコ活ポータルサイトへ!



環境省
Ministry of the Environment

裏面もありますよ



1

食品ロスと「まんぷくBOX」

日常生活において、とても大事な要素となる“食”。私達は、日々、食べものを口にしています。お腹が一杯になれば余ったおかずやお米などを、何も気にせず捨ててしまっていることはありませんか。

食品ロスとは、このような食べられる食品を捨ててしまうことを言います。日本では年間472万トン(令和4年度推計値)が発生。これは国民1人あたり1日約103g(おにぎり約1個のご飯量)※1を、捨てていることとなります。このような現状を踏まえ、私達ができることはないでしょうか。

家では、食べられる分量を考え残さず食べること。また、食品を購入する際、賞味期限の近いものを優先して選ぶことなど、身近でできることをやっ

※1 農林水産省HP引用

きたいと思います。地味な行動ではありますが、多くの人たちが意識することで、食品資源の適正確保や、地球温暖化抑制に繋がっていくのではないのでしょうか。

みたかボランティアセンター、三鷹市リサイクル市民工房やグランド三鷹には、家庭で余っている食品(未開封で賞味期限が1カ月以上残っているもの)の寄付を受け付ける「まんぷくBOX」というものがあります。私は最近知ったのですが、こういうものも活用しながら、食品ロスを削減していきたいと思います。(林)



まんぷくBOX

2

ビクトリアと三鷹の文化-自然と花で彩る街づくり-

ブリティッシュコロンビア州はカナダ西部に位置し、東京から飛行機で約9時間で行けます。州都ビクトリアは、三鷹と多くの共通点を持つ街です。ビクトリアにはさまざまな公園があり、大きな公園は井の頭公園のように地元のランドマークで、庭園や動物園、子供の遊び場があり、住民や観光客が集まります。

小さな公園は住宅街に点在し、遊具やスポーツ施設がある公園もあります。三鷹と同様、ビクトリアの公園は緑豊かで、自然が感じられる環境です。



花壇ボランティアの活動の様子

ビクトリアには三鷹との共通点がもう一つあります。それは、毎年春から夏にかけて地元の中心部に吊るされた花籠が飾られ、街の美しさを引き立てていることです。この季節ごとの花籠はビクトリアの観光資源としても注目されており、訪れる人々に大きな魅力を与えています。三鷹には花壇ボランティアの方々によって丁寧に手入れされた綺麗な花壇がたくさんあります。季節を感じられる花々が咲き多くの人を楽しませている様子は街の魅力を高めていると感じます。(王)

3

ご存じですか? 「ヘルプマーク」



みなさんは、このタグをご存じでしょうか。外見からは分かりにくい障がいなどをお持ちの方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作られたマークです。もしこのタグを身に付けている方が迷っていたり、戸惑っている様子を見かけたら、「何かお困りですか?」と声をかける目安になる物です。私は全盲の視覚障がいを持っていて私のリュックにもこのタグが付いています。先日、三鷹駅前を歩いていたら声をかけられたのですが、私のリュックに付いたこのタグを見

たそうです。ヘルプマークの役割を再認識しました。

東京オリンピック前辺りからJRのアナウンスにて、目の見えない方への援助依頼が始まり、普段でも声かけをしてくださる方々が確実に増えた実感があり、とても助かっていますが、それ以外の障がい者への援助の輪が広がるきっかけになれば嬉しい限りです。

一概に環境問題といってもその範囲は広く、現在地球規模で問題になっている温暖化やCO2排出量などの問題もあれば、障がい者というマイノリティーにとって切実な、しかもいわゆる大多数の健常者にとっては分かりにくい生活環境の問題も、多様性や共生が叫ばれて久しい今、これも環境問題と言えるのではないかと思います。(籠宮)



次回令和7年1月頃発行予定です
おたのしみに♪

【発行】みたか環境活動推進会議 (愛称:みんなの環境)
【連絡先】三鷹市生活環境部環境政策課 0422-29-9612(直)

